

タイトル 担い手支援資金の創設
J A 名 J A 兵庫六甲

1 動機 (経緯)	組合員の世代交代が進む中、農業資金を利用する際に J A だけでなく他行にも並行して相談するような事例が見受けられるようになってきました。これまで J A に優位性があった農業資金においても次世代の組合員の要望に応え得る体制・商品性等が求められており、従来の農業資金とは異なる新しい資金を創る必要がありました。
2 概要	最高 5 0 0 万円までの無担保融資かつ低金利での運用を行うことで他行に負けない商品性を持たせる一方、リスク管理の観点から組合員の経営内容および収支状況等を把握するために、当 J A が行っている記帳代行の利用と毎年度自己査定先としての抽出を条件にしています。また、把握した情報を基に経営相談センターや営農経済事業部の担当者と組合員とが相談して経営計画を作成することでコンサルティング機能を発揮し、併せて貸出枠を設定することにより迅速な融資を行うことで、組合員の信頼を獲得して組合員離れの防止および J A の総合利用に繋げることも目的にしています。
3 成果 (効果)	本資金は導入 1 年目であり当 J A がこれまで扱ったことのない形態であるため、当面は本店の担当部署を通じた取扱いに限定しているものの、平成 2 2 年度は 1 件実績が上がり、平成 2 3 年度にも既に 1 件申し込みがあることから、今後も相談に応じて対応していくこととしています。
4 今後の 予定(課題)	現在は担当部署が中心となって対応していますが、スキームを定着させることによって、最終的には各店舗により対応可能な体制づくりを進めていくこととしています。また、農業生産法人等が相手の場合は当 J A で記帳代行の対応ができず、組合員の経営状況によっては記帳代行の必要性がない場合もあるため、記帳代行を行わない場合のスキームも検討していく必要があります。組合員満足を徹底するためのフォロー活動や、様々な要望に応え得る職員のスキルアップも今後実施すべきと思われます。

- 営農相談から資金ニーズを把握
- 組合員と経営計画の作成
- 記帳代行
- 組合員と経営計画の作成
- 経営計画受けた迅速な融資
- 自己査定によるリスク管理
- J A への信頼増加
- 他の事業の利用促進

